

彼岸だより



東澤山 菜流寺

住職 武山清堂

〒 421-2102 静岡市葵区油島 122

電話 054-294-0542 秘在寺へ

Fax 054-294-0709

info@hizaiji.net

http://hizaiji.net/

http://ashita-an.hizaiji.net/



ヨガ体験



◆お彼岸

今年の秋彼岸は入りが十九日で明けが二十五日です。

「無事」(ぶじ)

私達は日頃「今日も一日無事に過ごせてありがたうございました」と仏前にお参りし感謝の心を現します。この「無事」を臨濟禅師は「求心止む処無事」とおっしゃいました。求める心が収まると既にいっぱいあったことに気付きます。日本のヘレンケラーと言われた中村久子の言葉に「あるあるある みんなある さわやかな秋の朝」この気付きが「無事」です。



◆施餓鬼会

ご参加下さった皆様ありがとうございました。また評議員の皆様には準備と片付けをしていただき心よりお礼申し上げます。

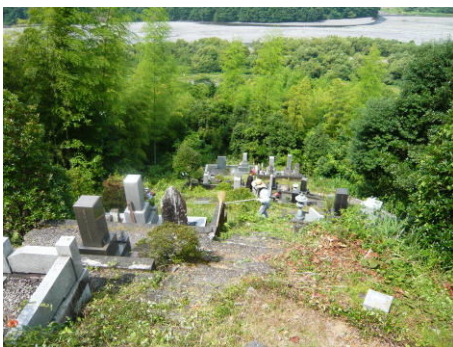
成人・長寿者表彰 ↓



施餓鬼会はお釈迦様の弟子の阿難様の言い伝えが始まりで、住職の読経・回向によって餓鬼の苦しみから救われるという法会への供養という意味もあります。宝津院・水月院・全福寺の和尚さまとともに法要が行われ、その後ヨガを体験、参加者全員で和やかに食事をいただきました。

◆草刈りお礼

七月二十四日、暑い日でしたが、油島の皆さんと評議員の方により草刈りをしていただきました。ありがとうございました。



8/15 油島川除地蔵供養祭



◆ご報告

○熊本大地震支援募金

募金箱を置いておきましたが、一七三〇円の寄付をいただいたので、秘在寺で足して五千円を妙心寺花園会おかげさま献金に送金しました。

○棚経

副住職長男 蓮が小学生になったので、今年から一緒に棚経に回ることにしました。初めてなので郷島小田地区十五軒のみでしたが、暖かく迎えていただきありがとうございました。毎年少しづつ回る軒数を増やしていくつもりです。郷島の棚経は住職と副住職がそれぞれ一組と七組から回り始めますが、どちらから始めるかは交互にしています。どうぞよろしく願います。



◆ご案内

○写経

本山から写経の勧めが来ております。「白隠禅師二百五十年遠譚」に因んで、「白隠禅師坐禅和讃」です。(般若心経ではあ

りません)本山に納経する場合は一卷につき、千円の納経料が必要で、これは白隠禅師ゆかりの寺などの整備事業に使われます。詳しくは同封のパンフレットをご覧ください。檀信徒の皆さん写経をしてみましよう。筆記用具は筆でもペンでもかまいません。一人で書くもよし、家族で書くもよし。心静かに気持ち新たに写経用紙に向かってみましよう。きつとさわやかな気持ちになり、写経の功德を味わうことが出来るでしょう。

○そらの道まつり

十一月三日

九月末にチラシを配布致します。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。またお彼岸過ぎに準備委員会を開催しますので、関係者の皆様、今年もよろしくお願います。

○秋の参拝旅行

十一月二十一～二十二日

恒例の参拝旅行、高野山・比叡山に続く三回目は、**姫路城と円教寺**です。姫路城は、総工事期間五年半に及んだ平成の大修理を終え、一段と美しくなりま



した。書写山円教寺は西国三十三観音の第二十七番札所で、一西の比叡山」とも言われ、書写山の山頂に京都の清水寺に似た摩尼殿、重要な文化財の大講堂などがあり、ハリウッド映画「ラストサムライ」のロケ地になりました。山頂近くまでロープウェイで登りますが、境内からは瀬戸内海が見えます。もう一つの札所「一乗寺」にもお参りする予定です。この彼岸日より一緒に案内を配布します。代金を添えてお申し込み下さい。中型バス使用で定員は二十六名です。



一泊のお参り旅行はこの先も一年ないしは一年半に一度のペースで企画する予定です。あちこち行き散らすよりは、目的地に一貫性を持たせた方が良く、個人的に、西国三十三観音札所のうち、個人で行きにくい所で、観光地と組み合わせられるところを選んでいくつもりです。三十三観音すべては行けません、御朱印を希望する方は集めてみたらどうでしょうか? 今後の行き先としては「天橋立と成相寺・松尾寺」「薄墨桜と谷汲山華厳寺(岐阜)」「青岸渡寺と熊野古道・熊野神社」「岡寺・壺阪寺・長谷寺と奈良」などを考えています。

※根尾谷(岐阜県)の薄墨桜は「三春滝桜」・「山高神代桜」と並ぶ、日本三大桜の一つです。



○新亡供養参加レポート

岸本しのぶ

「本山妙心寺からお手紙がきたんだけど」と父が言う。六月二十七日に一周忌をしてくれるって言うことらしかったけど、私も父も何しろ初めてのことなので・・・。これはよくあることなのだろうと、まあ、妙心寺っていったら、京都だし、お断りしてもいいだろう、ダイレクトメール、的なやつだろうと思っていたのですが。「秘在寺の檀家として本山からこんな手紙がきたし、行ってみたいのがいいらしい。」とまた父が誘って来るので、そんなのかな、まあ、行ってみるかな、ということになり、京都二泊三日の旅が企画されました。お寺のお宿♪のネーミングの妙心寺の隣の花園会館には優先的に泊りできると連絡があったそうなので、前日二十六日は五人で一部屋予約。

父の店の定休日は火曜日なので、連泊もよかったですですが、私たち家族に合わせて、二十五〜二十七（土、日、月）の旅になりました。

一日目はそれぞれ予定通りの行動をして宿泊。

二日目の予定は太秦！に遊びに行くこと。子供たち（大人も含む）も大興奮。花園会館に荷物を置き、お隣の駅の太秦へ。子供たち、それぞれが剣、刀、などを買って、満喫して会館に戻る。ここへも、母は一度来たそう。夕飯は花園会館で。お風呂も広くてとてもきれい。また来たい。

※太秦（うずまさ）には東映太秦映画村があり

ます。時代劇撮影を見学でき、時代劇の世界をオープンセットやイベント・アトラクションを通じて体験できるテーマパークです。

三日目、いよいよ本番です。うっかり何しにきていたか忘れていたが、花園会新亡供養の法要会に来ていたのでした。自称晴れ女の母のおかげでものすごくいいお天気！

妙心寺はすごく広くてびっくり。お寺がいっぱいあって、その中でもいちばん大きな本堂で法要が行われました。あらかじめ書いておいた写経を出して、受付して本堂に。僧侶は五十人くらい。檀家さんは三百人くらいだと思いますが、バスでツアーみたいになってる方もいました。御詠歌が流れていて、

次男は待ち時間に爆睡。そのあと、尺八の披露。お経のあとお説教。



ここまですべて一時間くらいです。そのあと、別室で精進料理をいただきました。肝心なところの描写の感想がへたくそですが、初めてなので、すごいとか、感動するとか、あまり解らないのです。正直・・・。ただ眠くて、この一年の疲れがまとめてどーっつと襲いかかるようでした。そしてお経がますます眠気を誘うという感じです。

不謹慎だと思っ方もいるでしょうけど、この一年、心身ともに、私たち家族は疲れていたんだと、初めて実感したように思います。母の病気を宣告された二年前から気が休まることがなかった父。私もいつもどこか自分を責め、必要以上に仕事に打ち込んでしまうこともありました。お経で和尚さまたちに癒されたというよりは自分の気持ちに素直になる時間をもらったように思います。家族で出かけられてよかったです。

そして父が元気でよかったです。息子たちを育ててくれてよかったです。そのあと、父が親しい天球院さんにご挨拶。国宝の屏風も見せていただきました。いい旅でした。

追伸
お説教の内容。

身近に相談することができず、介護を苦に身内を殺めてしまう事が残念だ。もし、抛り所があれば、家族が近くにいたなら。子供のお誕生会は毎年盛大にやっても、先祖の供養はしない家族が増えている。「子供たちに伝えていくべきこと」をぜひもう一度考えてほしい、とおっしゃっていました。

しのぶさんのお母さん、笠間信子さんは平成二十七年に七十二歳で逝去されました。信子さんの御主人、笠間昌史さんは毎年その道まつりで版画刷りの指導をして下さっています。

そんなご縁で、秘在寺の檀家になって下さいました。笠間さんはコーヒー店を営んでおられます。元の軍人墓地の所にお墓があります。墓石には笠間さんのコーヒーカップやポットの版画が刻まれています。



本山の新亡供養は毎年開催され、初盆を迎えたお宅にはご案内が届きます。今回秘在寺からは笠間さんが初めて参加なさったので、レポートをお願いしました。



○トランスジャパンアルプスレース

お盆だよりでお知らせした「トランスジャパンアルプスレース」ですが、今年は天候に恵まれたせいもあって、ペーサーが速く、望月将悟選手は八月十一日夜九時少し前にこの地域を通過しました。日付が変わる直前、ストップでゴールイン、大会四連覇です。スタートからの総時間は、四日間二十三時間五十二分、二位との差は七時間半でした。俵沢から大浜海岸まで三時間ほどで到着、日本海・富山湾から太平洋・駿河湾までの距離およそ四百五十キロ。北アルプスから中央アルプス、そして南アルプスを、自身の足みで踏破した、その最終日にこのスピドで駆け抜けるのですから信じられない速さですね。

望月選手は静岡市千代田消防署しずは出張所勤務、副署長で山岳警備隊員を兼務、副住職の同級生です。

秘在寺家族揃って野田公園に激励に行きました。



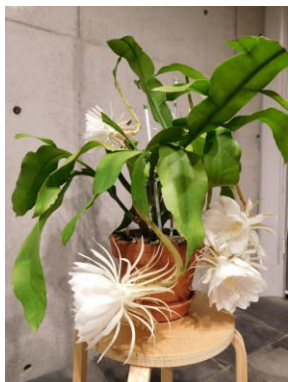
レースの様子がテレビで放映されます。

『ザ・プレミアム 激走！日本アルプス 超人たちの4年後』
～トランスジャパンアルプスレース 2016～

BS プレミアム 9月24日(土) 午後9時～

○月下美人

俵沢の長島浩さまから、蕾が五つもついた月下美人をいただきました。八月十五日夜八時過ぎから蕾が開き始め、十一月頃にはすべて開花。本堂玄関に芳醇な香りがたちこめました。十四日なら花火の日なのでもっと大勢の方に見ていただけたい。一日違いで残念でした。けれども先祖の御霊前に手向けることができました。



○妖怪いちご大福

とある店で妖怪いちご大福なるものを作ったという写真を見たので菓子教室でしようと思ってもなかなかうまくできませんが、あーだこーだと楽しかったです。



妖怪コンテストです！



これがお手本ですけど・・・

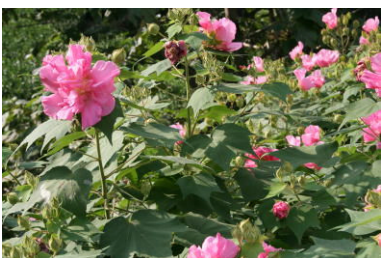
○芙蓉(ふよう)

秘在寺の境内には今、芙蓉の花がたくさん咲いており、これは七年前に副住職と畑を開墾して苗を植え、年々増やしたものです。

芙蓉はあおい科で晩夏から初秋のころ、大形の薄紅の花を咲かせます。他に八重の芙蓉、それから朝咲き始めた花弁は白く、時間がたつにつれて薄紅色に変色する酔芙蓉があります。これは色が変わるさまを酔って赤くなることに例えたもので、不思議な花です。

また芙蓉は蓮の美称としても使われ、区別するために蓮を水芙蓉、芙蓉を木芙蓉とも言うそうです。さらに二つとない神秘的で美しい山という意味で富士山を芙蓉峰とも言います。

皆さんが彼岸のお参りにいらつしやるときに、たくさんのお芙蓉がお迎えしてくれると思います。これからも増やしていきたいと思っております。



○福祉カレンダー「禅の心」

静岡・藤枝地区臨済宗青年僧の会「如水」制作。著名な禅僧の墨跡のレンダリです。一部千円ですが、収益の半分を福祉施設への寄付をしておりますのでご覧下さい。